



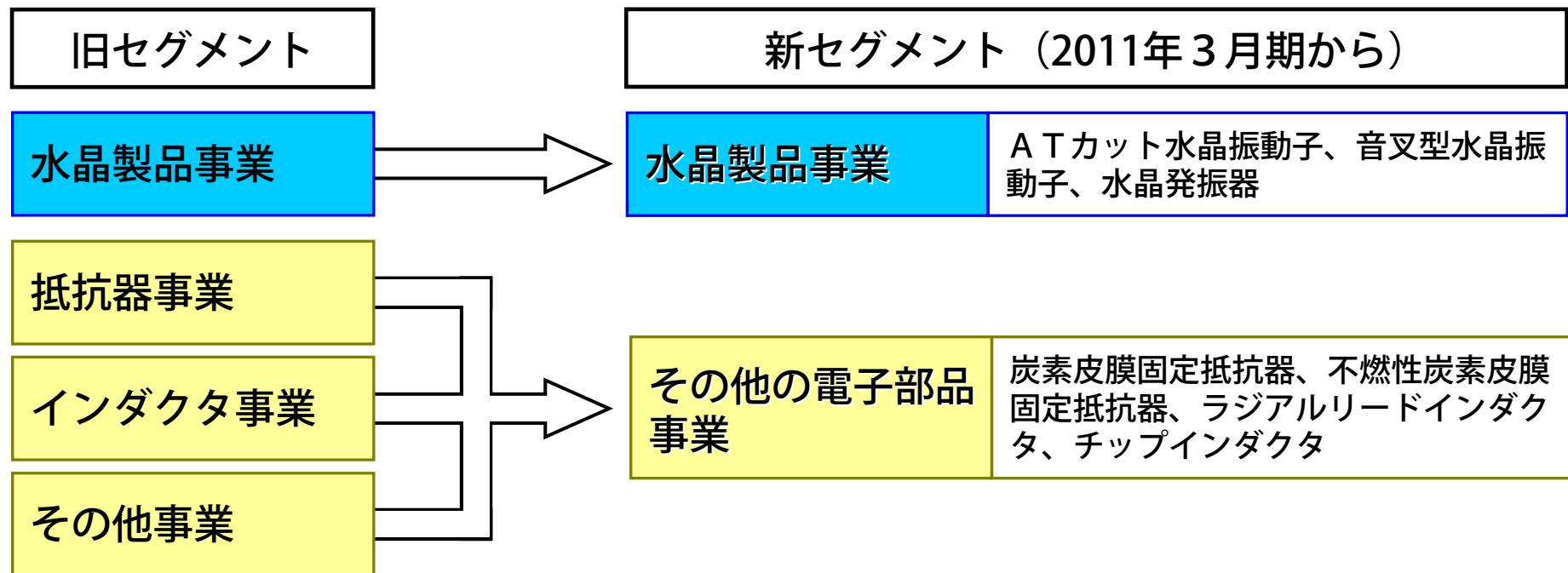
2011年3月期 第2四半期決算資料

リバーエレクトック株式会社

(証券コード：6666 JASDAQ)

セグメント情報の変更について

- ◆ 当社グループは製品の種類別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開していることから「水晶製品事業」と「その他の電子部品事業」に報告セグメントを変更



- ◆ これまで全社セグメントとしていた当社管理部門に係る費用を各事業に売上高比率で配賦
- ◆ セグメント利益を経常利益で開示

2011年3月期 第2四半期決算概要

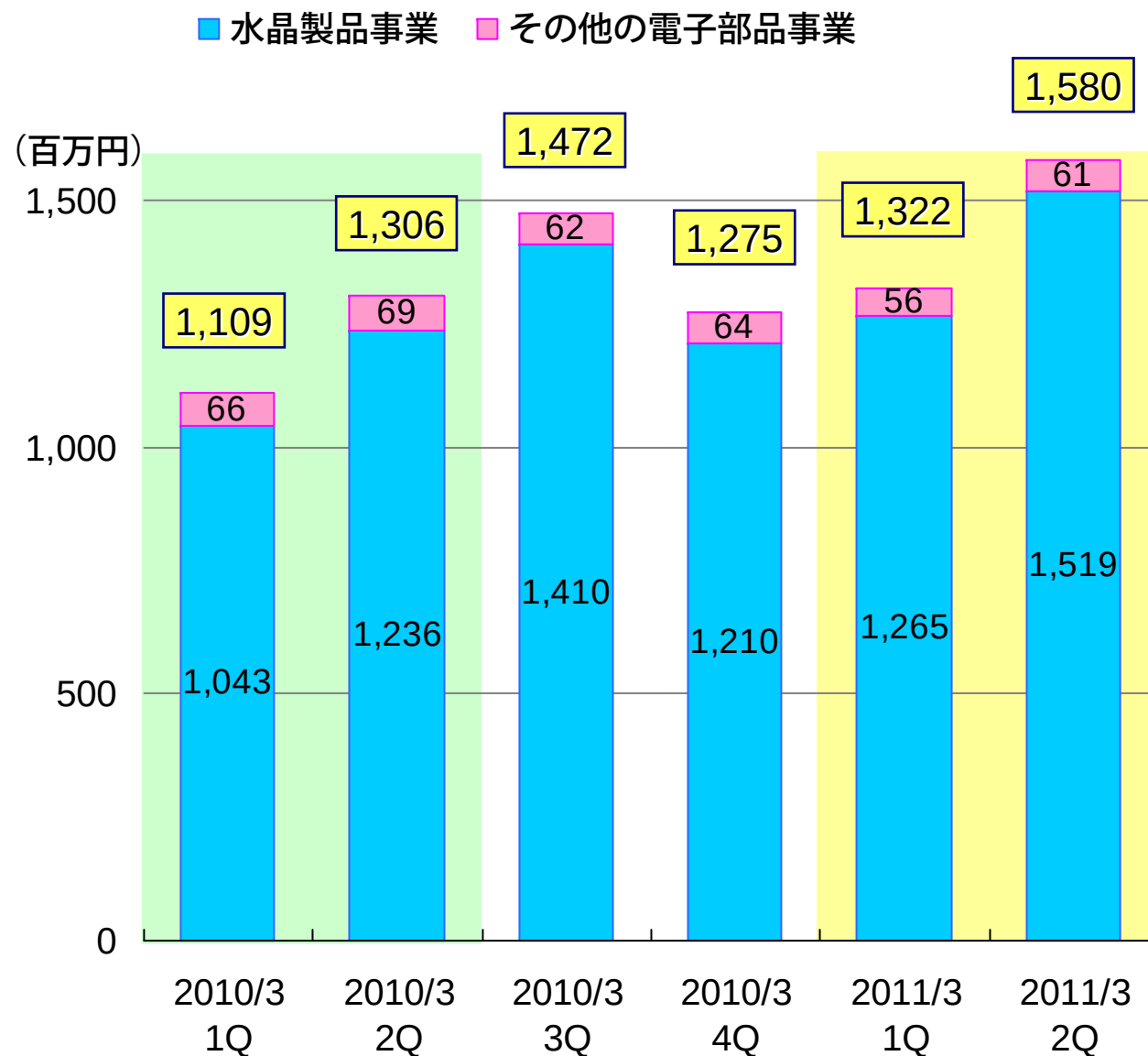
連結決算ハイライト（2011/3期 第2四半期）

(百万円)	2010/3期 第 2 Q		2011/3期 第 2 Q					
	実績	百分比	予想	百分比	実績	百分比	対前年 増減額・率	対予想 増減額・率
売上高	2,416	100.0%	2,918	100.0%	2,903	100.0%	487 20.2%	▲15 ▲0.5%
売上総利益	107	4.5%	541	18.6%	623	21.5%	515 478.2%	81 15.1%
販管費	598	24.8%	600	20.6%	619	21.3%	21 3.5%	19 3.2%
営業利益	▲490	▲20.3%	▲58	▲2.0%	3	0.1%	494 —	62 —
経常利益	▲474	▲19.6%	▲50	▲1.7%	3	0.1%	478 —	54 —
四半期純利益	▲414	▲17.2%	▲56	▲1.9%	▲6	▲0.2%	408 —	50 —
E P S	▲56.27円		▲7.71円		▲0.91円			

2011年3月期 第2四半期決算のポイント

- ◆ 売上高は水晶製品事業のスマートフォン向けの受注が好調に推移し、前年同期比487百万円増（20.2%増）の2,903百万円となった。
 - ◇ 音叉型水晶振動子の受注が堅調であり、海外売上高比率は50%を超えた（前年同期比19.4pt上昇）
- ◆ 営業利益は増収効果に加え、プロダクトミックスの改善及び前期に実施した減損処理による減価償却費の減少により黒字化
 - ◇ 営業利益は3百万円（前年同期は490百万円の営業損失）
 - ⇒ 売上原価率は前年同期比17pt改善
 - ⇒ 退職金制度（適年→確定給付）の移行により退職給付債務が65百万円増加
 - ◇ 経常利益は3百万円（前年同期は△474百万円）
 - ◇ 四半期純利益は△6百万円（前年同期は△414百万円）
- ◆ 業績予想は据え置き
 - ◇ 第2四半期における業績は期初予想を概ね上回っているものの、第3四半期以降の経営環境が極めて不透明なことから期初予想を据え置き

報告セグメント別四半期売上高推移



※累計差額方式によっております。

対前年同期比較 (累計)

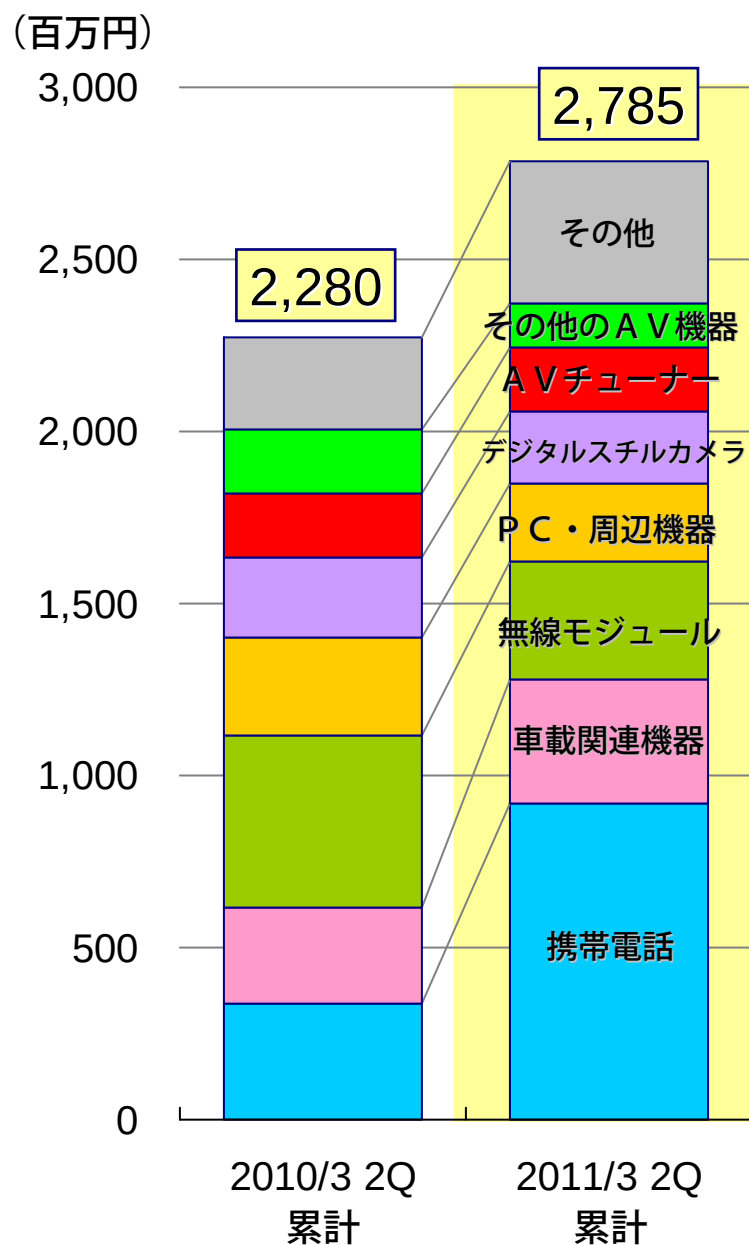
水晶製品事業

スマートフォン需要の追い風を受けた携帯電話向けや、車載向けが好調に推移（対前年同期比22.2%増）

その他の電子部品事業

抵抗器はA V機器向けが好調だったものの、インダクタは事業縮小もあり、全体では減収（対前年同期比13.3%減）

水晶製品事業 アプリケーション別四半期売上高推移



売上高構成比

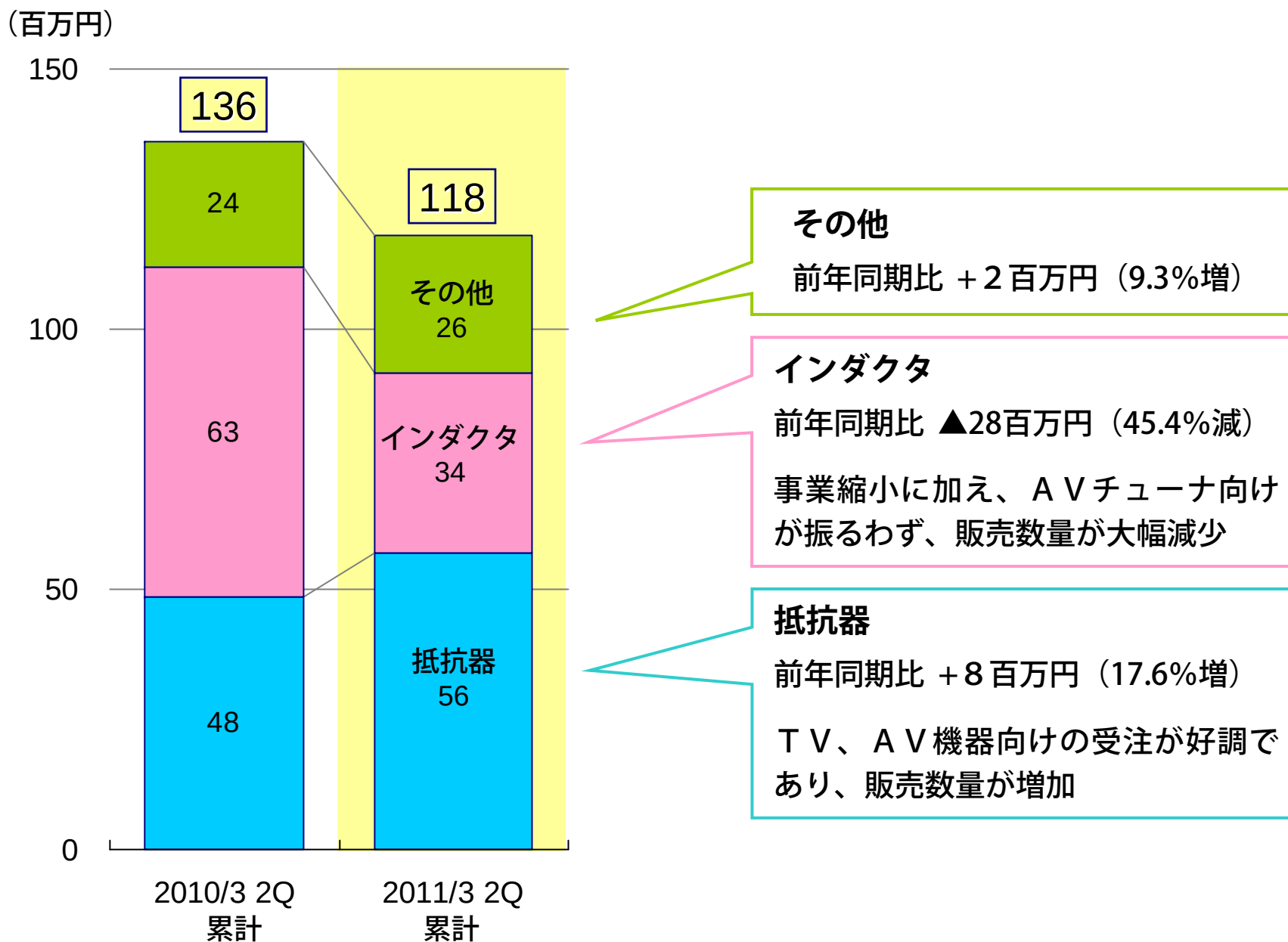
アプリケーション	10/2Q	11/2Q
■ 携帯電話	14.9%	32.9%
■ 車載関連機器	12.2%	13.0%
■ 無線モジュール	22.0%	12.3%
■ PC・周辺機器	12.4%	8.2%
■ デジタルスチルカメラ	10.2%	7.7%
■ AVチューナー	8.2%	6.5%
■ その他のAV機器	8.1%	4.7%
■ その他	12.0%	14.7%

携帯電話向けは、世界的なスマートフォン需要の拡大により売上高2.7倍

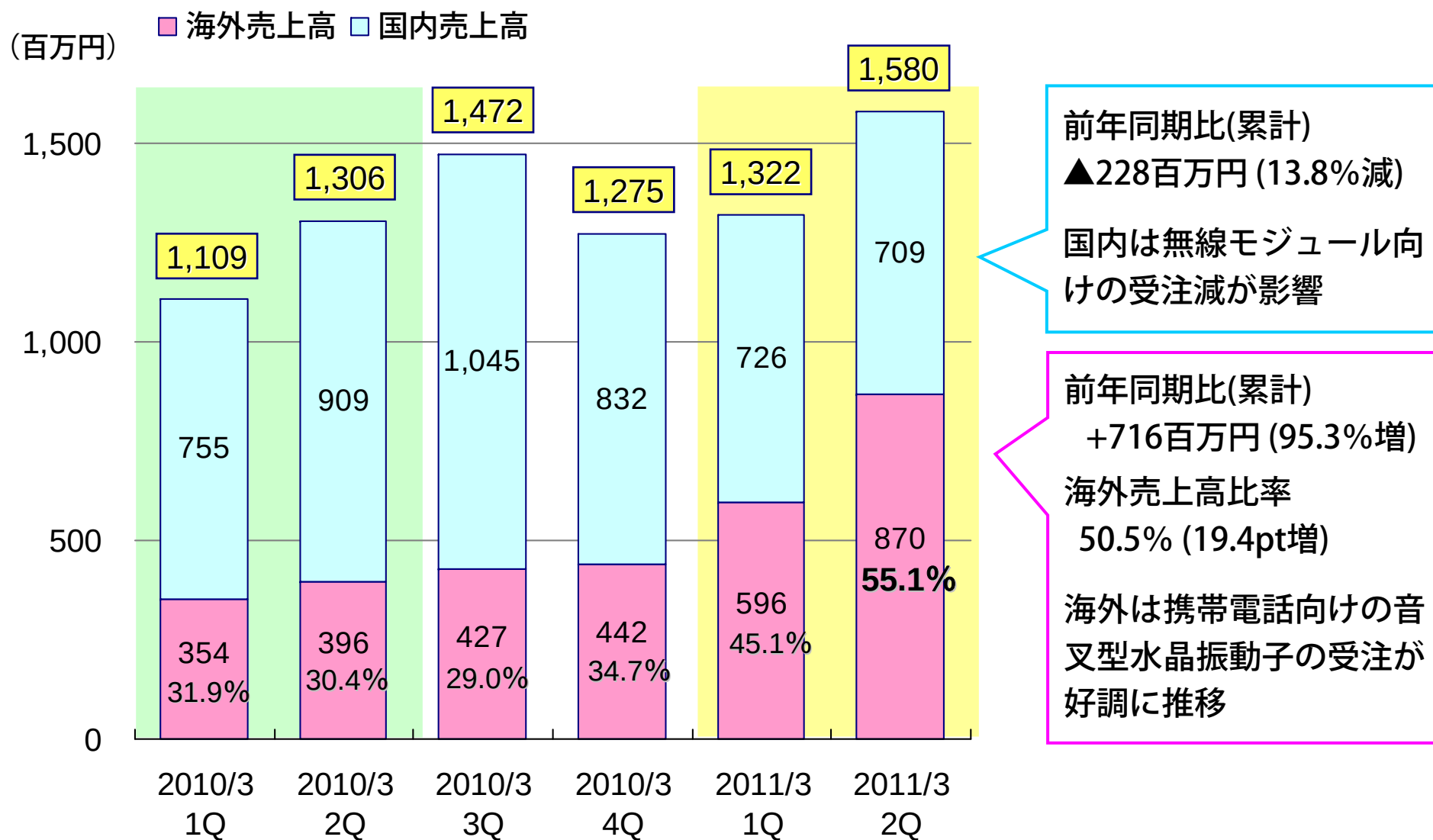
車載関連機器向けは、自動車の販売台数回復の効果等により販売数量が伸長し増収

無線モジュール向けは採算性を優先した結果平均販売価格は上昇したものの、販売数量の減少により減収

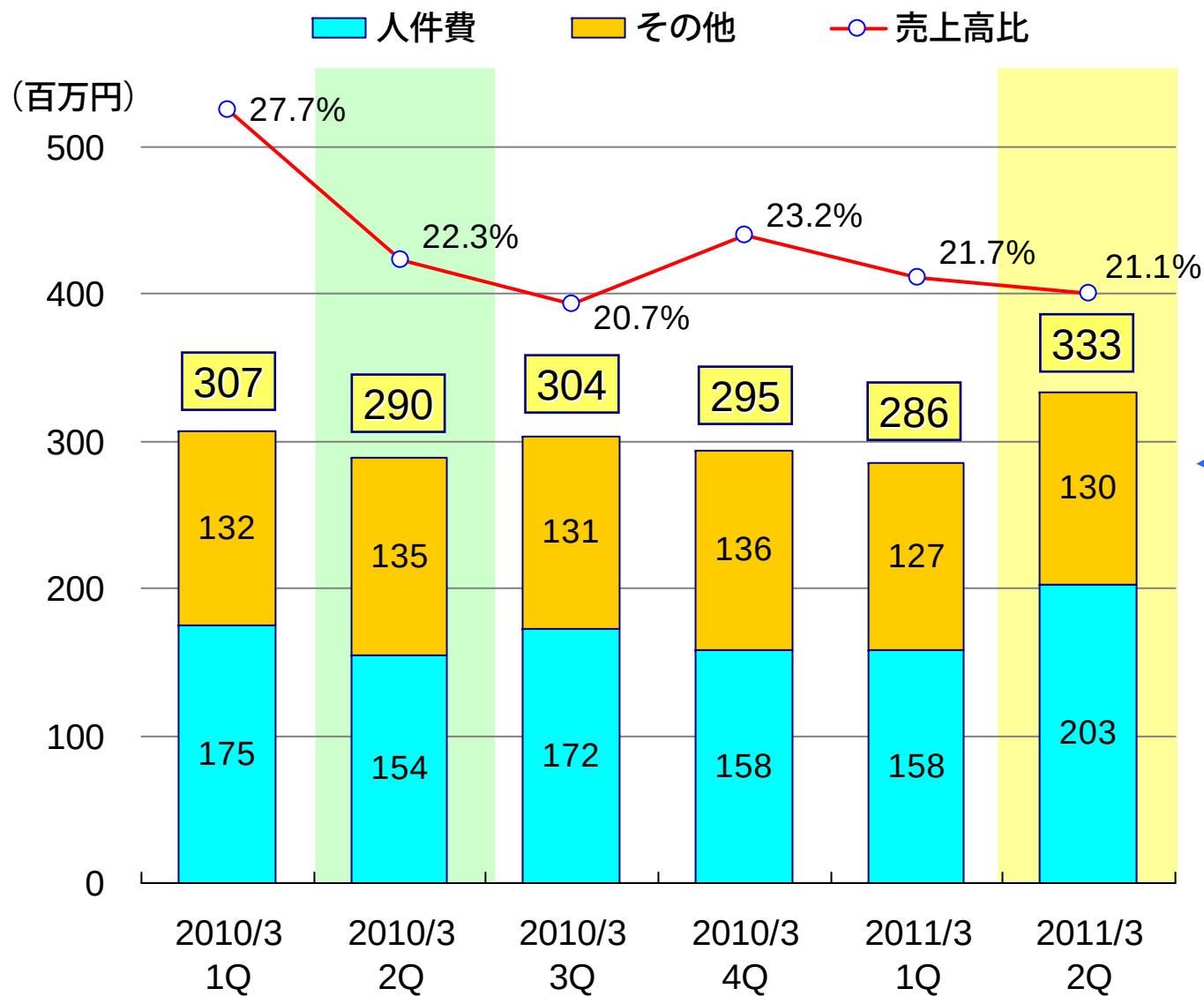
その他の電子部品事業 事業セグメント別四半期売上高推移



海外売上高

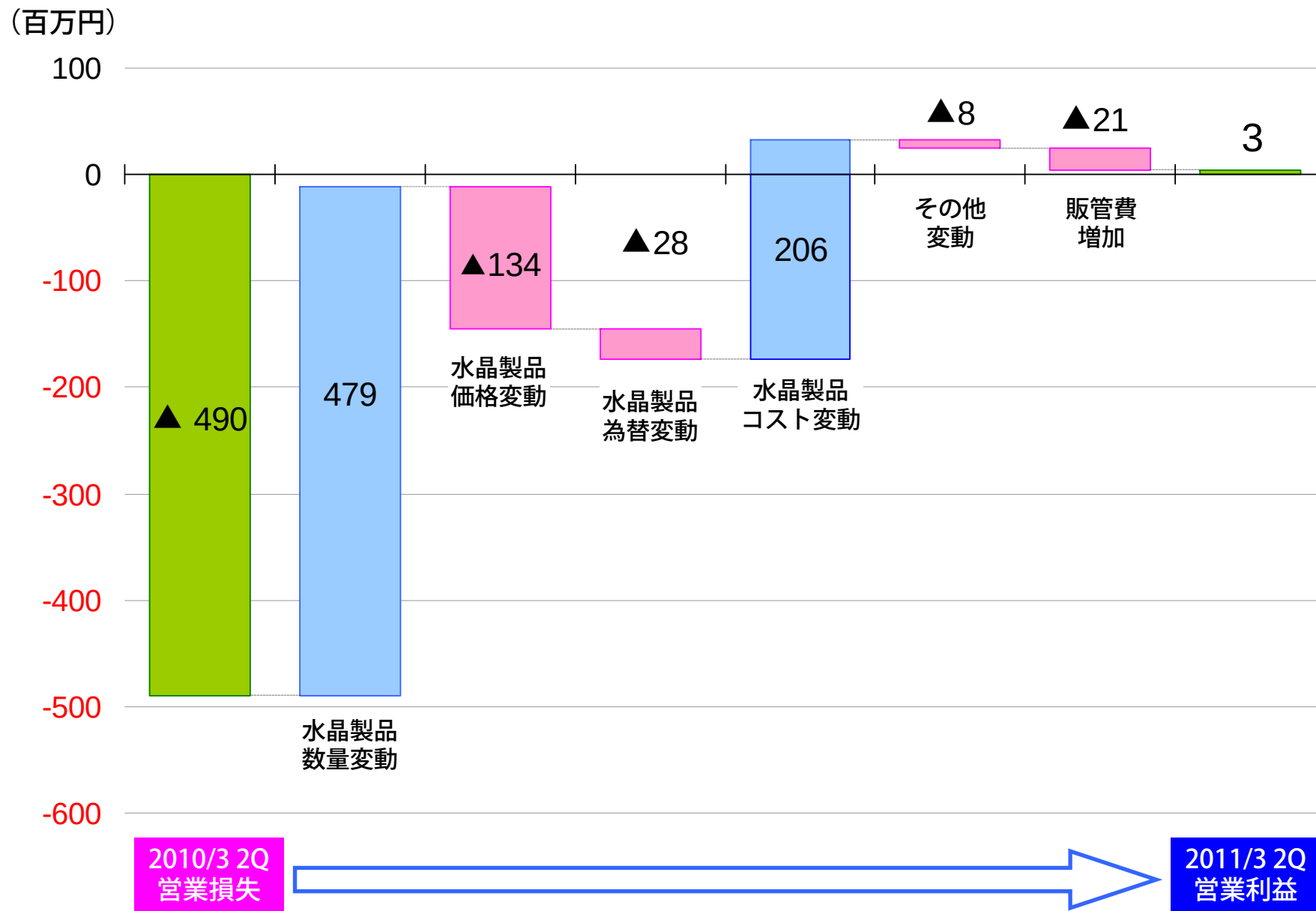


販売費及び一般管理費推移



前年同期比（会計）	+42
人件費	+48
賞与引当金	+10
退職給付費用	+35
役退引当繰入	+5
その他	▲5

営業利益の増減要因



貸借対照表

(百万円)	2010/3 期末	2011/3 2Q	増減額
流動資産	4,347	4,404	56
固定資産	3,138	3,143	4
繰延資産	3	3	▲0
資産合計	7,490	7,551	60
流動負債	2,754	3,128	373
固定負債	1,548	1,357	▲191
負債合計	4,303	4,485	182
純資産合計	3,186	3,065	▲121
負債、純資産合計	7,490	7,551	60
自己資本	3,136	3,065	▲71
有利子負債	2,562	2,554	▲7

たな卸資産 : +144百万円

機械装置 & 運搬具 :
+214百万円
建設仮勘定 : ▲176百万円

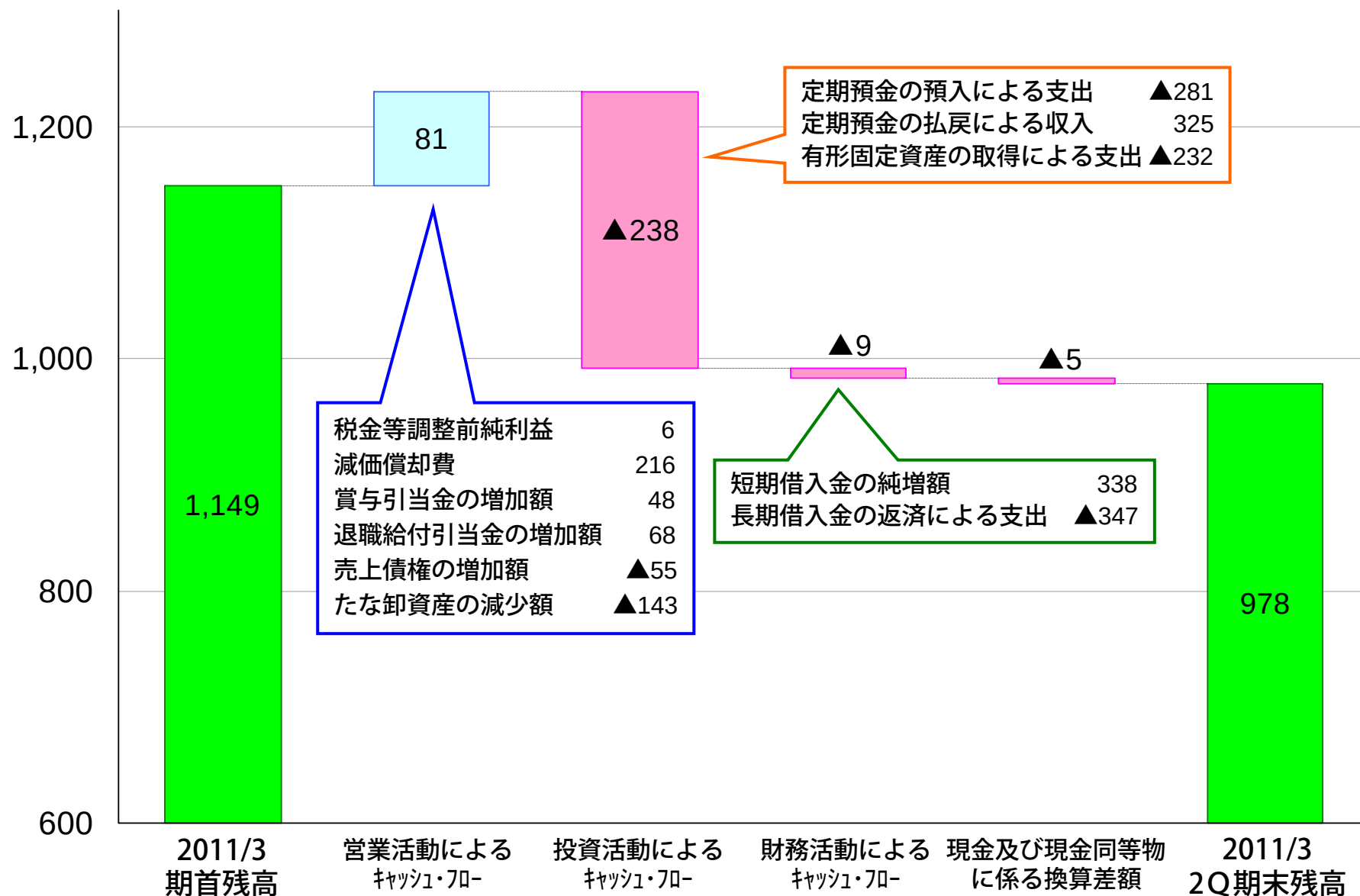
短期有利子負債 :
+258百万円

長期有利子負債 :
▲266百万円

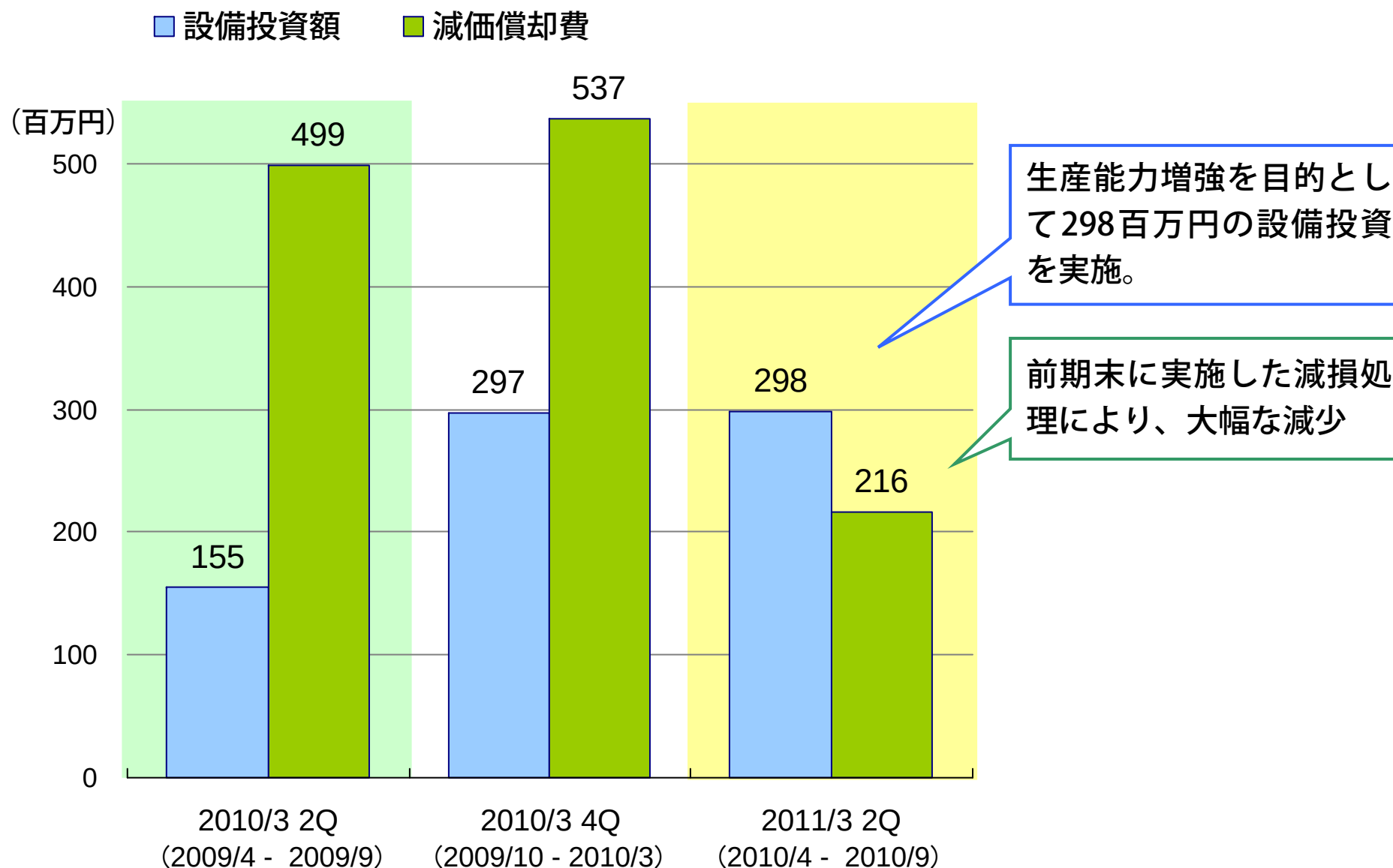
評価・換算差額等 :
▲64百万円
少数株主持分 : ▲49百万円

キャッシュ・フローの状況

(百万円)



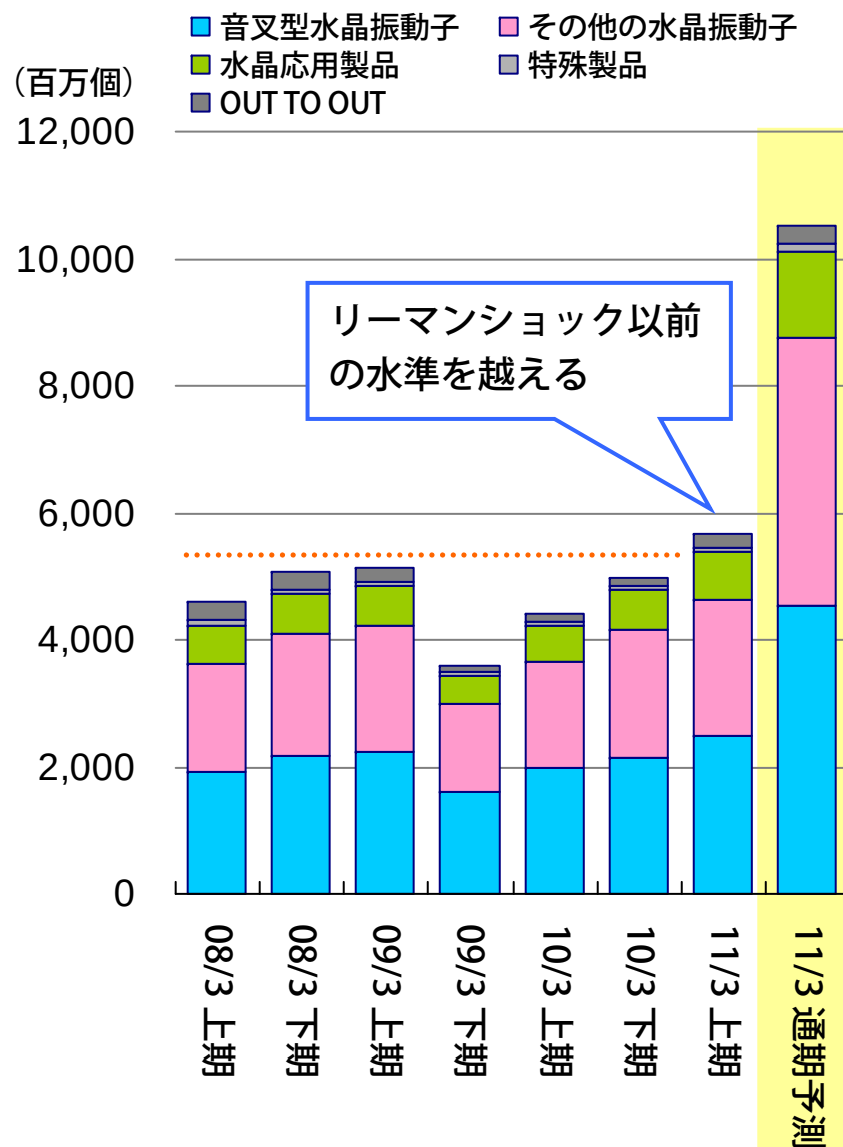
設備投資・減価償却費推移



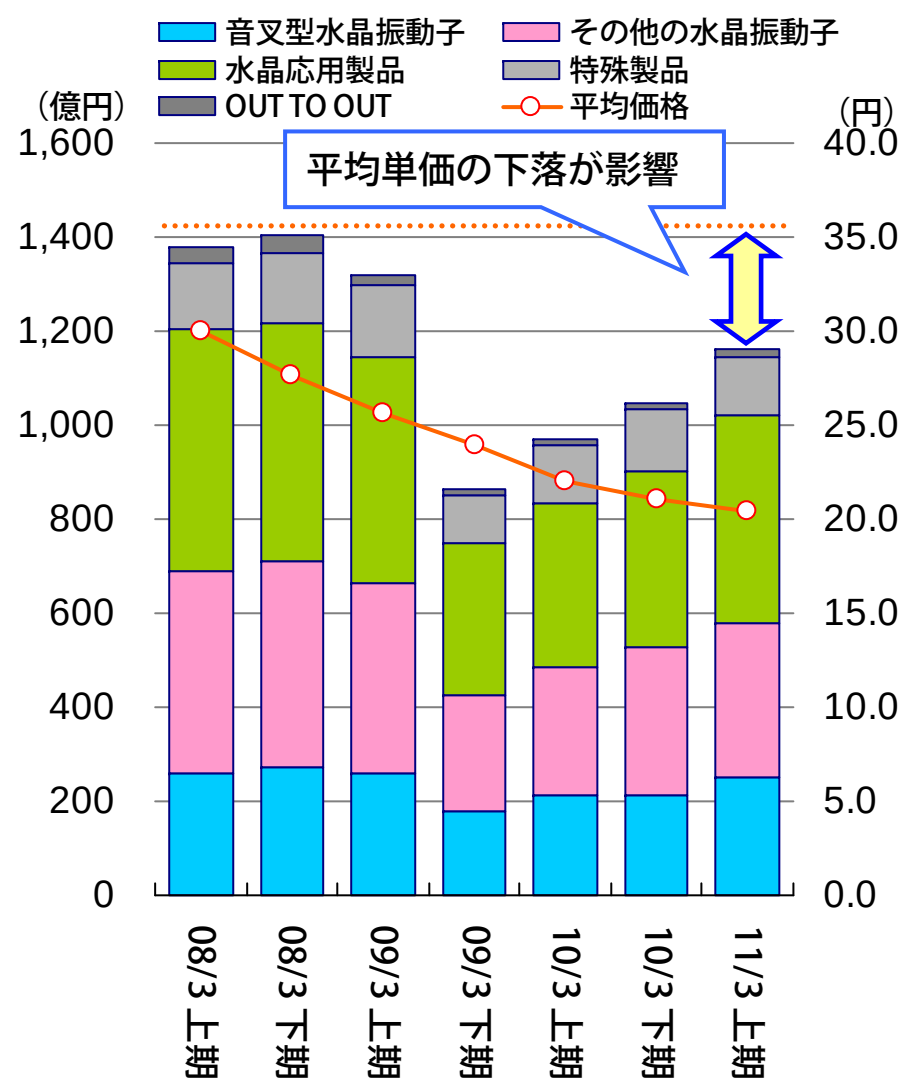
2011年3月期 業績予想

水晶製品生産実績と予測

生産数量



生産金額



(出所) 日本水晶デバイス工業会 (QIAJ) 資料より

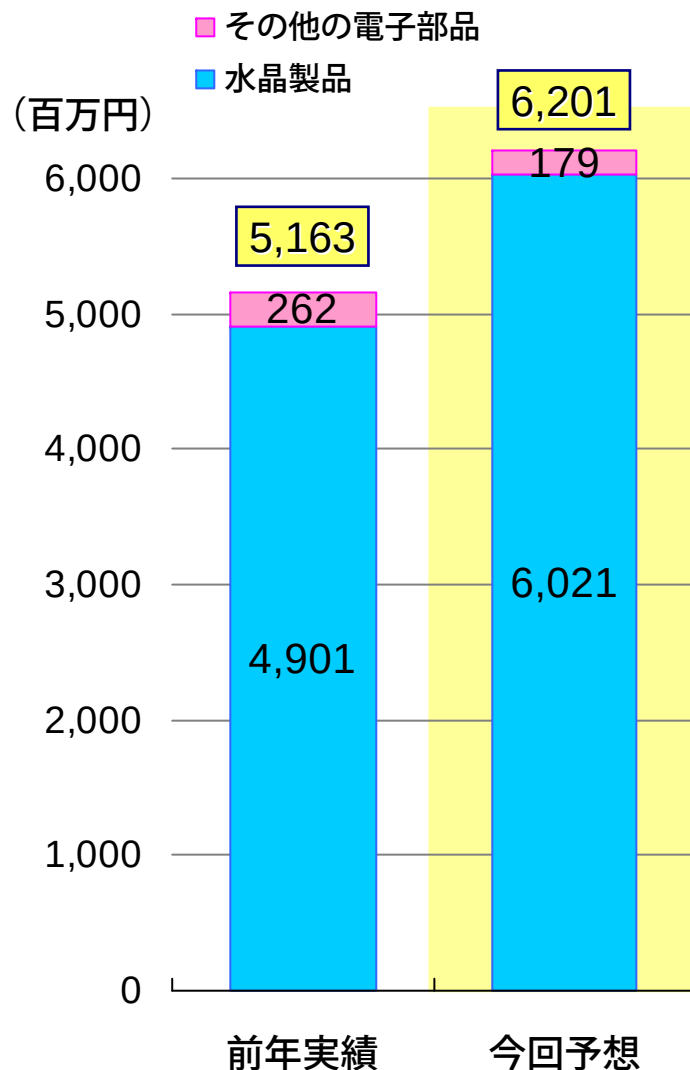
業績予想（2011/3期 通期）

業績予想の修正：無

(百万円)	2010/3期		2011/3期		
	実 績	百分比	今回予想	百分比	対前期 増減額・率
売上高	5,163	100.0%	6,201	100.0%	1,037 20.1%
売上総利益	315	6.1%	1,209	19.5%	893 283.4%
営業利益	▲883	▲17.1%	11	0.2%	895 —
経常利益	▲863	▲16.7%	19	0.3%	882 —
当期純利益	▲3,486	▲67.5%	4	0.1%	3,491 —
E P S	▲472.95円		0.67円		
換算レート	USD/円 92.10		下期：USD/円 85.00		

業績予想（2011/3期 通期） — 報告セグメント別売上高

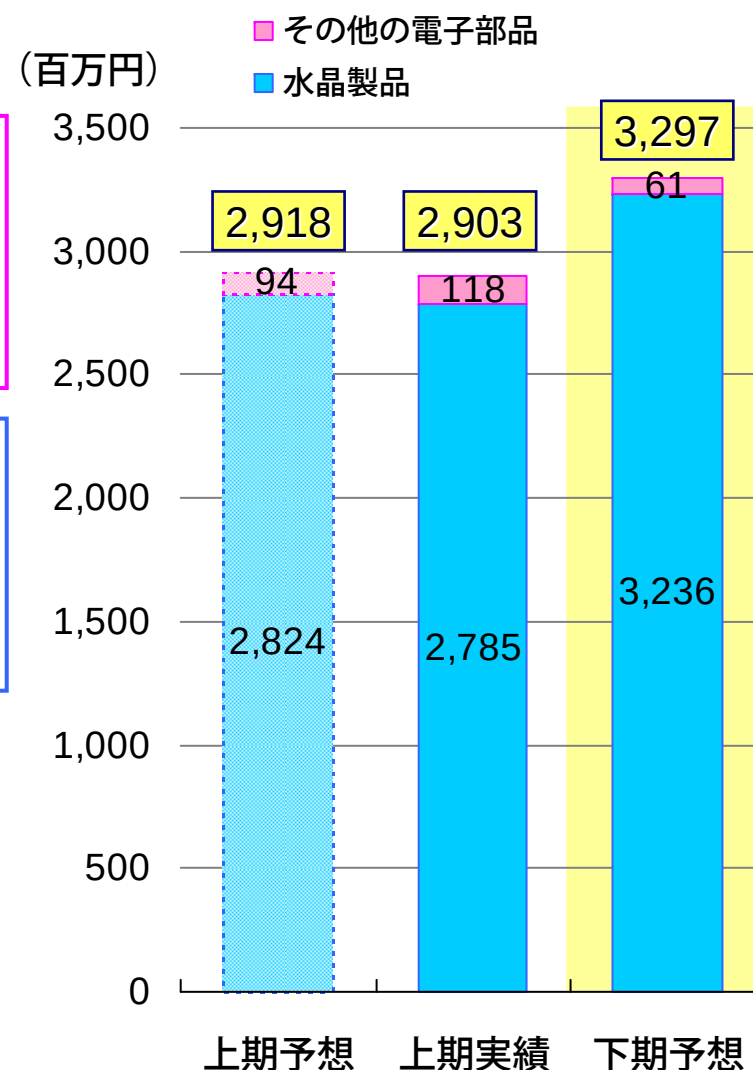
通期



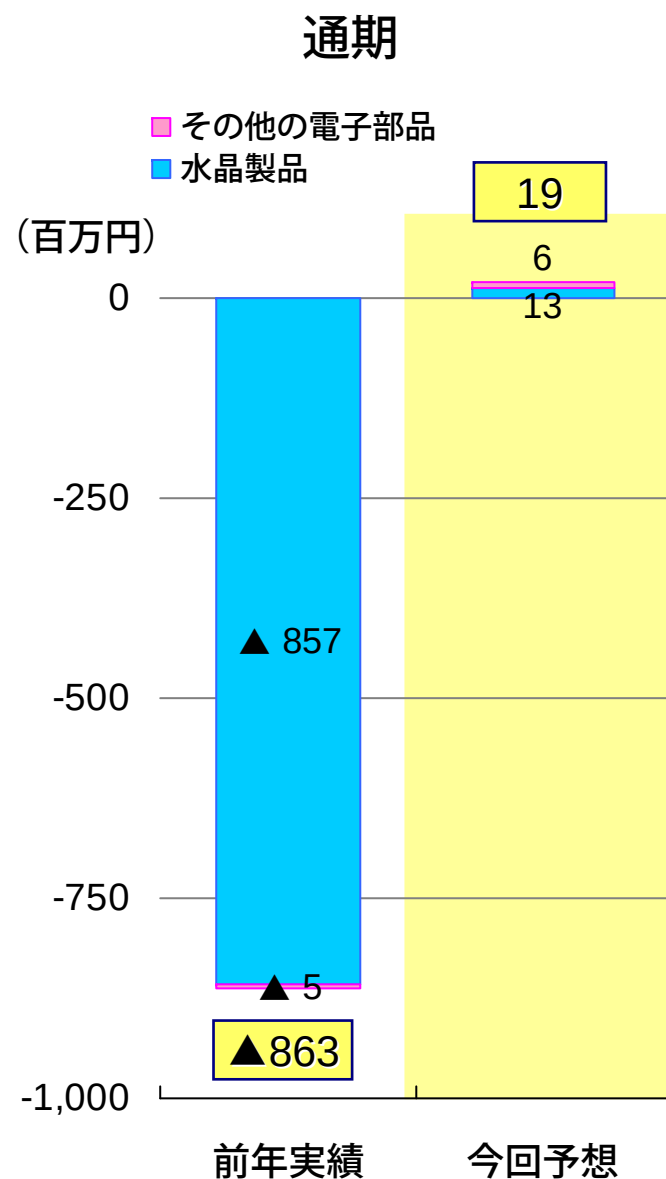
その他の電子部品
前年同期比
▲83百万円
(31.6%減)

水晶製品
前年同期比
+1,120百万円
(22.9%増)

半期別

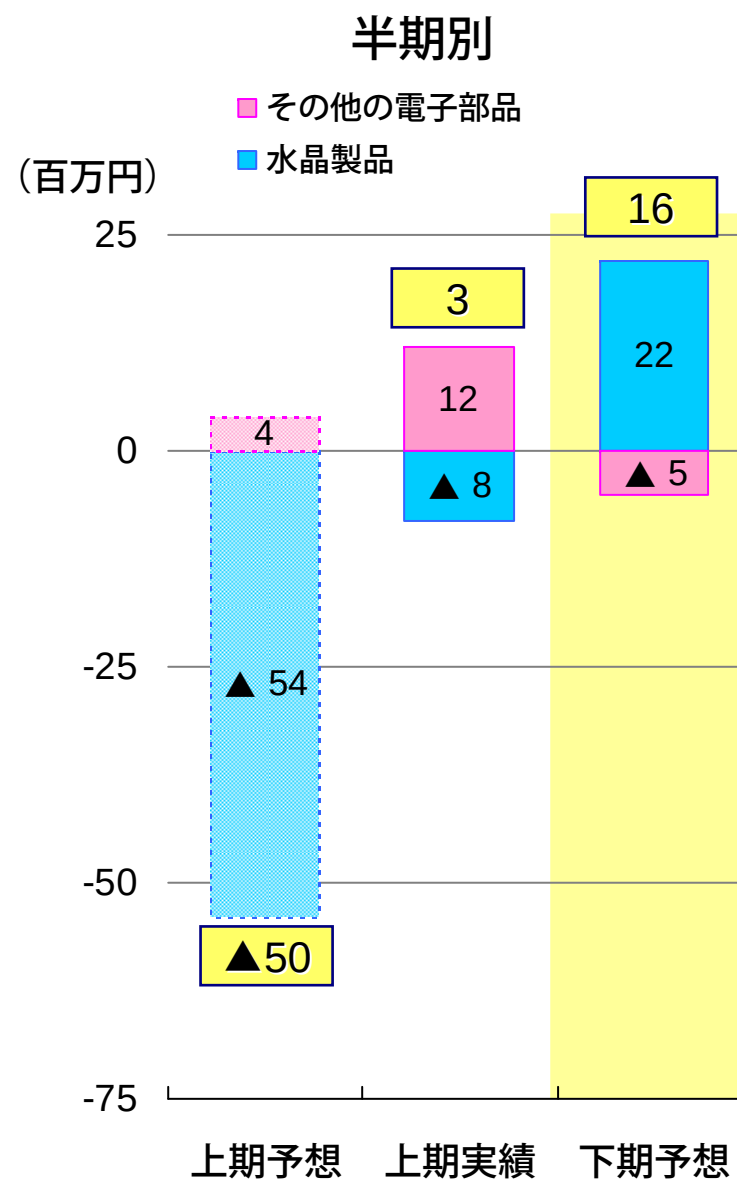


業績予想（2011/3期 通期） ―報告セグメント別利益

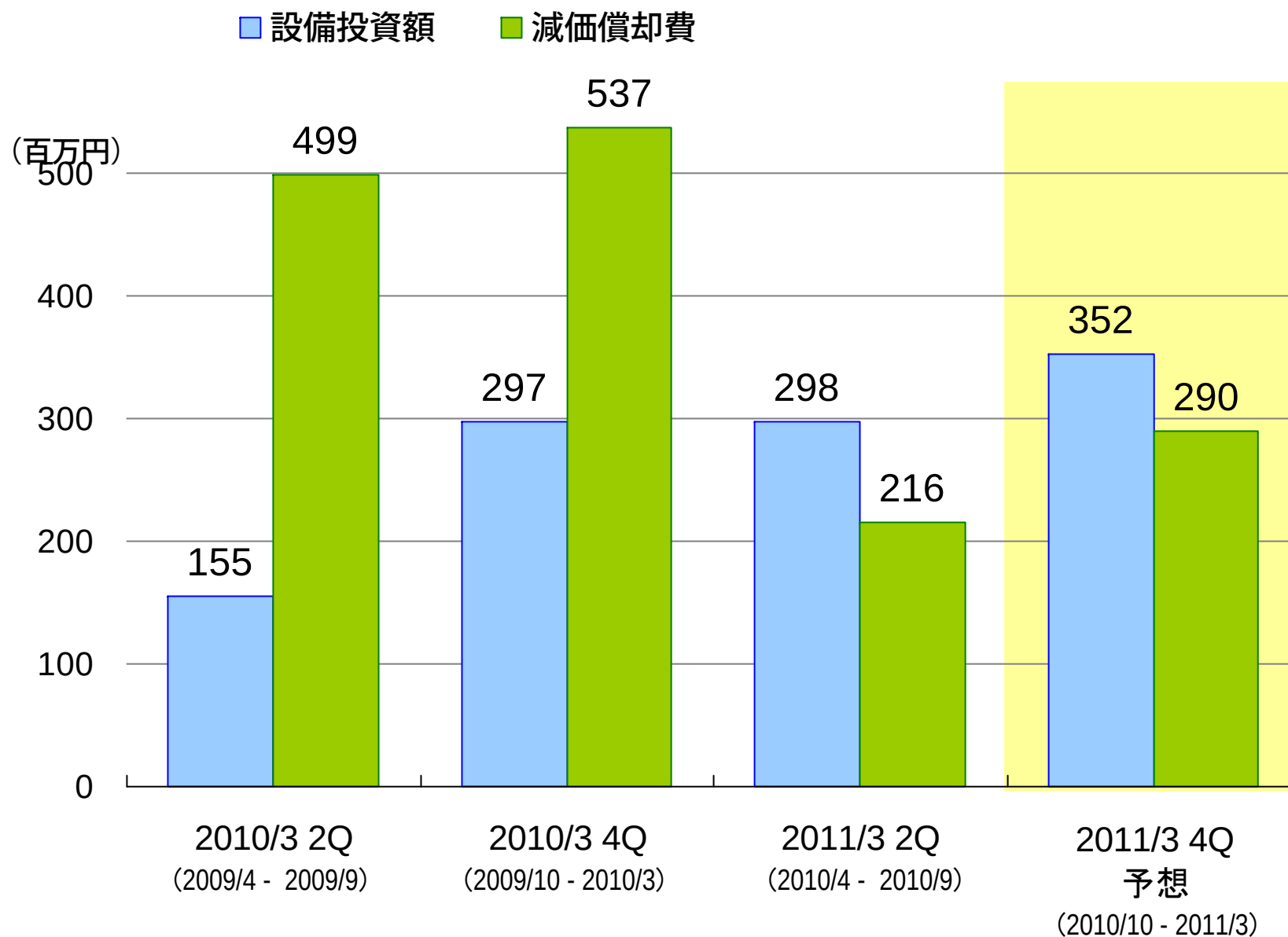


その他の電子部品
前年同期比
+12百万円

水晶製品
前年同期比
+870百万円



設備投資・減価償却費推移予想



通期業績達成に向けて

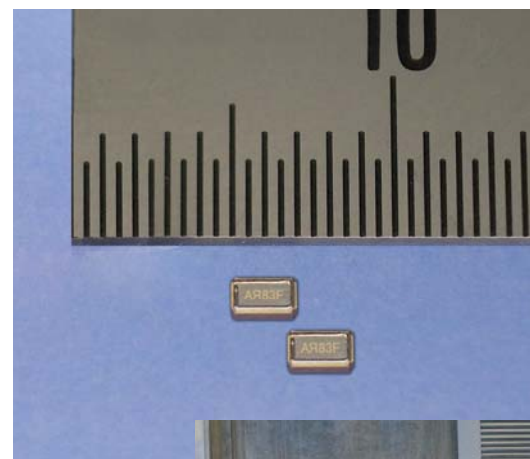
◆ 音叉型水晶振動子を中心に、スマートフォン需要の取り込みと海外販売の取り組み強化

- ◇ 2年以内に海外売上高比率を60%程度まで引上げるという期首の取組方針に対して第2Q時点で50%超まで進捗
- ◇ 携帯電話、スマートフォン向けを中心としたモバイル製品に軸足をおいた営業を展開



◆ 海外の小型化市場に対してRIVERブランド力を強化し、潜在的なニーズを取り込む

- ◇ 当社の強みである「小型・高品質」に磨きをかけ、顧客満足を向上させる製品・サービスを提供



TFX-03は「やまなし産業大賞」において「ものづくり大賞部門」の大賞を受賞。
(2010年11月18日)

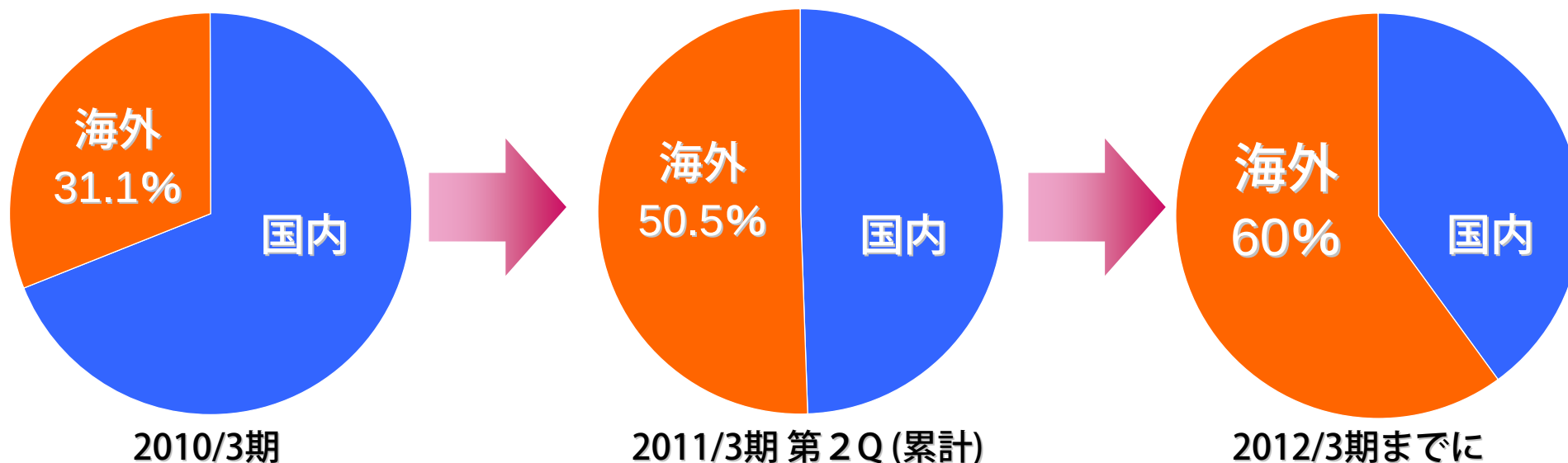
海外販売の取組強化

◆ 中国のEMS及び現地企業向けの販売拡大を進める

- ◇ 西安の販売子会社を中心とした販売体制を確立する
- ◇ 深セン駐在員事務所の設置（2010年4月）
- ◇ 北京駐在員事務所の設置（2010年11月）
- ◇ 上海販売代理店との連携強化



売上高構成



新製品の開発

小型化の分野において他社に先駆けた新しい価値を提供し、顧客のニーズに応えていく
(本日15:10プレスリリース)

世界最小サイズのAT水晶振動子 (※)

FCX-08

Cubic volume

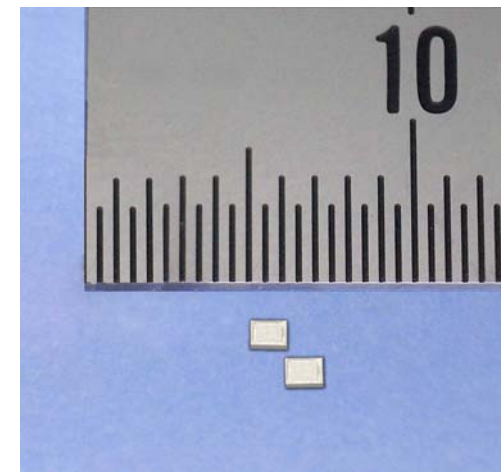
46%down

FCX-07L

0.7mm³

▶ 0.4mm³

- 小型設計(1.2mm×1.0mm×0.3mm typ.)
- セラミックと金属蓋を電子ビーム封止により高信頼性を確保
- 高精度周波数特性および高精度温度特性に対応可能
- 無鉛はんだ用リフローソルダーリングが可能
- 用途：携帯電話、無線等モジュール



世界最小サイズの音叉型水晶振動子 (※)

TFX-04

Cubic volume

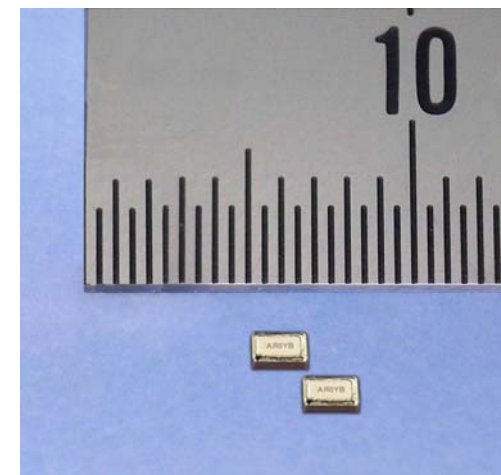
50%down

TFX-03

1.4mm³

▶ 0.7mm³

- 小型設計(1.6mm×1.0mm×0.45mm typ.)
- セラミックと金属蓋を電子ビーム封止により高信頼性を確保
- 無鉛はんだ用リフローソルダーリングが可能
- 用途：AV・OA機器、携帯電話



※2010年12月2日現在、当社調べ

《注意事項》

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。
そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。

リバーエレテック株式会社

(JASDAQ、証券コード6666)

<http://www.river-ele.co.jp/>

総務部経営企画課

TEL：0551（20）1277

RIVER
One and Only Creator